

たい。特に、今回の計画においては、各事業に設定した「達成目標」に基づいて、毎年度その進捗よく状況を確認するとともに、各重点課題に設定した「成果指標」による評価の結果を来年度の事業実施に生かしていきたい。



1. 1 み問題

村上 仁(共産党)

問 家庭ごみの有料化ではなく、市民と協力して自主的な取り組みを支援していくことが、行政の役割だと考えるが、いかがか。

答 ごみ減量・リサイクルを進めていくためには、市民との協働の取り組みが大変重要であると考えている。そのため、生ごみ・草木類の「リサイクル・パートナーシップ制度」の創設などで、減量・リサイクルを市民との協働で推進するとともに、ごみステーション管理器材の助成などに

より、環境美化に取り組む地域住民を支援していく。有料化は、ごみ減量・リサイクルの効果を最大限に高めるため必要な推進施策である。



食の安心・安全

佐藤 典子(市民ネット)

問 札幌市が責任を持って、生産から消費に至るすべての段階で食品安全行政を総合的・計画的に進めるための条例の制定などが必要と考えるが、今後の中長期的な形の中で、どのように進めていく考えか。

答 市民、学識経験者、食品関連事業者などから幅広く意見をいただく機会を設け、生産から流通・販売・消費に至る食の安全を確保するとともに、食産業や観光の振興、札幌ブランドの確立なども視野に入れた、食の安全と安心に関する総合的な施策を検討していきたい。

可決された議案

●一般会計補正予算

次の内容で2,485万円を補正するものです。
2008年北海道洞爺湖サミットの開催などを控え、今後発生が懸念されるテロ災害への対応について、化学防護服などの整備に要する経費の追加。

●札幌市市民まちづくり活動促進条例案

市民まちづくり活動の促進に関し、基本理念並びに市民、事業者および市の役割を明らかにするとともに、市の施策の基本的事項を定めるものです。

このほか、札幌市中小企業等振興条例の全部を改正する条例案など合計12件が可決または同意され、人権擁護委員候補者推薦に関する件については推薦することを適当と認めました。

否決された議案

●札幌市無防備平和条例案

11月22日、地方自治法第74条第1項の規定により、同条例制定の直接請求があったため、本定例会において審議されましたが、反対多数により否決されました。

可決された意見書

- 灯油等製品の価格引下げのための緊急対策を求める意見書
- 地球温暖化防止に向けた森林づくり等の推進に関する意見書
- 障害者の権利に関する条約の批准を求める意見書
- 嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書
- 取り調べの可視化の実現を求める意見書
- 円滑な建築確認審査の実現を求める意見書
- 後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書
- 障害者自立支援法の見直しを求める意見書
- 都市再生機構賃貸住宅居住者の居住安定に関する意見書
- 防衛省疑惑の徹底説明を求める意見書

第1回定例会のお知らせ

平成20年第1回定例会は、2月13日(水)から3月28日(金)まで開かれ、各会派の代表質問は2月20日(水)から3日間行われる予定です。

委員会の主な活動状況 (12月11日～1月10日)



◆総務委員会
12月21日V札幌市のごみ処理施策に関する陳情の初審査を行い、継続審査としました。

「子ども議会」の開催

市内の小学五年から高校二年までの五十人が参加した「子ども議会」は、昨年十二月二十七日(木)に市議会議場で本会議を開催し、まちづくりについて、市長にさまざまな提案を行いました。

子ども議員は、五つの委員会に分かれ、約三カ月かけて、財政問題、環境問題、いじめ対策、農業体験の在り方、雪対策など、それぞれのテーマについて検討してきました。当日は、検討結果をイラスト



トなどを交えて提案し、市長をはじめ、副市長や関係局長が、それら一つ一つに丁寧に答えました。